

会議録

1 会議名

令和2年度第3回阿賀野市社会教育委員・公民館運営審議会

2 開催日時

令和3年2月18日(木) 午後1時30分から午後3時30分まで

3 開催場所

阿賀野市笹神支所4階 大会議室

4 出席者（敬称略）

会 長：小野敏

副会長：伊藤道秋

委 員：佐藤元彦、伊藤浩、相田悦子、田中朋子

欠席：若月正和、五十嵐貴子

教育長：神田武司

事務局：羽田課長、清野課長補佐、下條副参事、小池社会教育係長、松澤自然の家副所長、
小林主任、中村主事

5 議題（公開・非公開の別）

(1) 阿賀野市社会教育委員の委員長・副委員長の選任について（公開）

(2) 阿賀野市公民館運営審議会委員の会長・副会長の選任について（公開）

(3) 令和2年度社会教育・公民館事業報告について（公開）

(4) その他（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

0人

8 発言の内容

羽田課長： 少し早いですが、皆様お揃いのようなので始めさせていただきます。
これより令和2年度第3回阿賀野市社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。本日は都合により若月委員と五十嵐委員から欠席連絡をいただいております。また、水原中学校の伊藤委員につきましては急な公務が入ったということで途中、退席されますので、よろしく願いいたします。

それでは初めに神田教育長から挨拶をお願いいたします

神田教育長： 皆様、こんにちは。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。あまりに良い天気が続くのでこのまま春になるかと思いましたが大間違いでした。先回のような大雪ではなく、子供たちの通学も無事にできてよかったと思いますが、上越のほうは大変だと聞いております。コロナウイルスのほうは、ワクチンの予防接種が始まりますが、私たちが接種できるのはいつになるか分からず、これからも緊張しながら過ごしていかなければいけないと考えています。

あつという間に年度末になりました。今回は改選後、初顔合わせのことですが、これからもお世話になりますがよろしく願いいたします。

今日は委員長、副委員長の選出と実績等の報告が中心となりますが、忌憚のないご意見をいただき、改善していきたいと考えています。よろしく願いいたします。

短いですが、開会のあいさつとさせていただきますと思います。

羽田課長： ありがとうございます。

それでは次第3に移らせていただきます。阿賀野市では、社会教育委員と公民館運営審議会の委員を兼務する形を取らせていただいております。任期は令和2年11月1日から令和4年10月31日までの2年間の任期となっております。今回の会議は改選後初めての会議となりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。初めに事務局から自己紹介をさせていただきます。

改めまして生涯学習課の羽田正佳でございます。今後ともよろしく願いいたします。

清野課長補佐： 生涯学習課課長補佐の清野です。改めましてよろしく願いいたします。

小池社会教育係長： 生涯学習課社会教育係の小池と申します。よろしくお願いいたします。

下條副参事： 市民スポーツ係の下條と申します。よろしくお願いいたします。

松澤少年自然の家副所長： 社会教育係五頭連峰少年自然の家を担当しております。松澤と申します。よろしくお願いいたします。

中村主事： 社会教育係の中村と申します。よろしくお願いいたします。

小林主任： 同じく社会教育係安田公民館の小林と申します。よろしくお願いいたします。

羽田課長： それでは委員の方々からも順に自己紹介をお願いいたします。

田中委員： 皆さま初めまして。今回から委員となりました田中と申します。社会教育関係ということで、ささかみ飛龍というよさこいの団体で活動させていただいて、週に1回ふれあい会館を利用しています。あと、読み聞かせボランティアとして市内の小学校で子供たちと触れ合って活動させていただいて過ごしています。

今回この委員は初めてで分からないことがいろいろとありますが、皆様のご意見を聞きながら勉強させていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

相田委員： 相田です。村上病院で勤務している助産師です。よろしくお願いいたします。

小野委員： 小野敏です。この委員は3期目で5年目になります。あと2年しかありませんが、歳ですので潮時かな、と思っておりますがあと2年務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

佐藤委員： 水原小学校の佐藤元彦です。3年目になりました。よろしくお願いいたします。

伊藤浩委員： 水原中学校校長の伊藤浩でございます。1年目です。よろしくお願いいたします。

伊藤道秋委員： 伊藤と申しますが、文化協会の関係からこの委員会に入りました。2期目です。小野委員よりはるかに歳ですが、もう1期は何とか頑張りたいと

思います。よろしくお願いいたします。

羽田課長： 皆様ありがとうございました。早速ではございますが、4番の議題に入っていきたいと思います。今回は（1）社会教育委員の委員長及び副委員長と（2）公民館運営審議会の会長、副会長を決めていかなければなりません、それが決まるまでは教育長から進行を務めていただきたいと思います。

教育長、よろしくお願いいたします。

神田教育長： それでは議題4の（1）に入る前に、阿賀野市社会教育委員の委員長、副委員長の選出、阿賀野市公民館運営審議会会長、副会長の選出についてということですが、事務局から説明があります。事務局よろしくお願いいたします。

羽田課長： それでは委員長、副委員長、会長、副会長を決める前に事務局側から提案をさせていただきたいと思います。皆様ご存知のように、社会教育委員と公民館運営審議会の委員は兼務という形を取らせていただいております。前期と同じく、委員長と会長、副委員長と副会長を同じ方をお願いできればと考えておりますが、よろしいでしょうか。

【委員から意見なし】

羽田課長： では、委員長と会長、副委員長と副会長を兼ねていただくという形をお願いしたいと思います。

神田教育長： それでは社会教育委員の委員長と副委員長、公民館運営審議会の会長と副会長について兼任をするという選出方法とさせていただきます。

それでは、（1）と（2）の議題について審議をお願いします。

阿賀野市社会教育委員の委員長と副委員長の選出について、社会教育委員会議運営規則第2条によれば、委員の互選による委員長及び副委員長を置くとあります。そこでですが、委員長に立候補される方はございますか。

【委員から立候補なし】

神田教育長： では、どなたかご推挙していただけますでしょうか。

伊藤道秋委員： 引き続き小野委員に委員長と会長をやっていただきたいと思います。

神田教育長： 小野委員に委員長と会長をという声がございしますが、小野委員いかがでしょうか。

小野委員： 皆さんがそのようにというのであればやらせていただきます。

神田教育長： 小野委員に委員長、会長をお願いするということによろしいでしょうか。

【委員から「はい」の声】

神田教育長： それでは、小野委員をお願いするということで決定いたしました。次に、副委員長、副会長に立候補はございますか。

【委員から立候補なし】

神田教育長： それではご推薦いただきたいですが、いかがでしょうか

小野委員長： 私を指名していただいた伊藤委員にお願いしたいと思います。

神田教育長： 伊藤委員いかがですか。

伊藤道秋委員： 不慣れですが、よろしくをお願いします。

神田教育長： 副委員長、副会長を伊藤委員をお願いするということによろしいでしょうか

【委員から「はい」の声】

神田教育長： 異議なしということで決定いたしました。
それでは、改めまして委員長、副委員長からお言葉をいただきたいのですが、委員長、よろしいでしょうか。

小野委員長： よろしくお願いいいたします。阿賀野市では社会教育関係でいろいろとお手伝いをさせてもらっていますし、若いころから社会教育主事として社会教育について勉強させてもらいました。また、今は人権擁護委員もさせてもらっていて、地域に少しでも貢献できればと思って頑張ってきました。

今後ともよろしく願いいたします。

伊藤副委員長： 先ほども言いましたが、社会教育については勉強不足ですが、京ヶ瀬文化協会の関わりで務めさせていただいています。阿賀野市の公民館の活用については今まで一生懸命やってきましたので、それを活かせればと思っています。

よろしく願いいたします。

神田教育長： ありがとうございます。これで議題（１）と（２）は終了しましたので、議題３からは小野委員長に進行をお願いしたいと思います。

小野委員長： ここからは私が進行をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

それでは、議題（３）の資料１について事務局から説明をお願いします。

清野課長補佐： 資料に基づきまして事業報告をさせていただきます。詳細については担当または担当係長から補足をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

資料 No 1 に基づきまして進めさせていただきます。

１ページには各種委員会関係ということで、生涯学習課に係る委員会ないしは協議会の名称を記載したものでございます。皆様ご承知のとおり、昨年度からのコロナの関係で当初はどのようなウイルスなのか不明ということもあり、中止とした事業が多々ございます。新しい生活様式ということで少しは感染拡大が緩やかになった機会もありましたが、中止や書面による議決となった大会や協議会がございました。

２ページからは、社会教育事業から始まり、最終のスポーツ振興事業まで報告をさせていただきます。

１．社会教育事業の（１）青少年教育でございます。子ども夢フェスタ 2020 ということで11月22日、23日にふれあい会館と笹神支所で作品展示をさせていただいたところです。コロナ対策として関係者の方々からご協力いただき、通路を一方通行にして開催をさせていただきました。

主だったものだけを報告させていただきますので、詳細についてはお目通しいただきながらご意見等を伺わせていただきます。

（２）は成人教育、（３）は家庭教育でございます。（４）につきましては学校教育支援ということで事業を実施いたしました。

3 ページに移りまして、温故塾、放課後スクールを前期後期に分けて実施したところでございます。(5) 高齢者教育では山手学級、寿学級、さわらび学級、高齢者講座がございまして、高齢者講座については大事を取り中止とさせていただきます。

(6) 青少年健全育成・防犯ということで、例年4月の家庭の日に地域ふれあいクリーン作戦を行っておりましたが、年度当初で状況が不明ということもあり、中止としたところであります。

(7) まちづくり支援ですが、例年、5月の連休に成人式を開催しておりましたが、実行委員からご意見をいただきながら、何とか実施できないか検討いたしまして、実行委員の自主的な活動として動画配信と記念品を贈呈して式典に代えさせていただきます。

(8) は学習情報提供でございます。(9) は芸術・文化活動ということで、例年開催しておりましたが、4地区の文化協会や各団体と協議をさせていただきます、中止させていただきます。また新年度に、改めてご協議いただいた中で実施できるのであれば、事務局としても関わっていきたいと思います。

5 ページ、2. 公民館事業でございます。

(1) 生涯学習活動推進事業ということで、塾のコンビニ事業まちづくり塾と公民館の成人事業ということで開催をさせていただきます。また、公民館主催事業ということで、キッズ料理教室を小学生高学年対象として水原公民館、京ヶ瀬公民館、安田公民館、笹神保健センターで計画をしましたが、水原公民館と安田公民館では実施できましたが、他の2地区については中止ということになりました。

(2) 家庭教育・学校教育支援ということで、2つの内容が載っております。

(3) 高齢者学級、これも先ほど出てきましたが、安田地区、京ヶ瀬地区、笹神地区で実施いたしました。

(4) 利用促進事業でございます。公民館利用促進会議ということで、学習相談などの公民館の利用を促進するというので随時受け付けたものであります。

6 ページに移り、(5) 女性学級、(6) 支援・育成事業、(7) 地域交流事業でございます。開催したものや中止にしたものがありますが、地域交流事業につきましてはすべて中止となったところであります。

3. 青少年育成センター事業についてですが、例年行っております、愛の呼びかけ巡回指導ということで青パトによる巡回指導を行いました。それから広報あがのに掲載を行いました。先ほども申し上げましたが、地域ふれあいクリーン作戦は中止となっております。

8ページに移り、4. 文化行政事業です。これにつきましては各種公共事業等の実施に伴います、埋蔵文化財の発掘等々を行ったものでございます。

文化財普及公開事業ということで、今回は土橋遺跡で出土したものの等々を12月8日から12月13日まで水原公民館市民ギャラリーで公開をさせていただいたところでございます。その他に、例年ですと発掘調査現場を臨時見学会として計画しておりますが、今回はコロナの関係で中止をせざるを得ないということで、代わりに、広くPR活動として業者や公共団体のご協力をいただき、空撮したものや出土物を撮影し、学校の生徒からも協力いただき作成したビデオを披露したところでございます。

5. 図書館事業です。例年行っております、読み聞かせだったりシネマクラブだったりを計画しておりましたが、室内での事業ということもあり中止になったものが多くございました。

12ページは6. スポーツ振興事業になります。スポーツ振興事業に関しましては屋内、屋外の事業がございますが、多くの人数が集まる事業が多くございます。その中で、中止したもの、コロナ対策を徹底して実施したものなどがございますが、各種大会、スポーツ教室、講習会、研修会、連携事業など、中止となったものが多くございます。年明けの駅伝大会、市民元旦マラソンは多くの参加申し込みをいただきましたが、コロナと合わせて大寒波が来るということもあり、やむなく中止としたところであります。

最後の報告になりますが、生涯学習課施設の利用状況等をお伝えさせていただきます。今年度と前年度の10月末現在で集計させていただきましたが、令和2年度に関しましては、コロナの関係が大きく影響しており、利用者数がかかなり減ってしまったということが現状であります。

私からは資料1について説明をさせていただきました。

続きまして、各係長ないしは担当から主だった事業の報告をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

小池社会教育係長： それでは社会教育に関する事、公民館事業に関する事について簡単に説明させていただきます。

1ページの研修事業についてです。全国社会教育研究大会、関東甲信越静社会教育研究大会、新潟県社会教育研究大会について新潟県が会場ということで力を入れてやってきたところですが、3日の開催の予定が2日間に変更し、県内関係者に限定しての開催となりました。縮小開催となりましたが、大変有意義な会となっております。こちらには小野

委員と相田委員と私の3人で参加させていただきました。

次に、五泉市・阿賀町・阿賀野市社会教育委員合同研修会ですが、昨年度から当市も参加させていただきました。今年度は当市が担当として開催する予定でしたが、コロナの関係で調整ができなかったため、今年度は中止とさせていただきます。来年度も当市が担当となりましたので、内容を含めて皆様からご意見をいただきながら良い会を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

2ページですが、(2)成人教育の中で、酒造りの工程とお酒に合うおつまみ作りということで、まちづくり塾を開催したのですが、今までに実施したことがない初のWEB講座を実施させていただきました。現在も公開しております、2月28日まで視聴することができます。白龍酒造様にご協力いただき、普段見ることができない工場内をご紹介しますので、興味がある方はぜひ見ていただきたいと思います。

(3)の家庭教育についてですが、今までは事業実施校等に1万円を助成する形で行っていましたが、これを市の方で事業を開催する方法に変更させていただきました。今年度はコロナ禍ということと、事業が重なっていたため、実施が難しかったのですが、実際に講演会を開催しましたら、参加者からは大変良かったという意見をいただきました。

次にまちづくり支援です。先ほど補佐からも説明がありましたが、成人式実行委員会の意見を踏まえて、初の動画配信と記念品の贈呈をさせていただきました。記念品は手ぬぐいにいたしました。これについては実行委員からの意見の中で、ぜひ阿賀野市の手ぬぐいという声がありましたのでそれを採用させていただきました。デザインは阿賀野市に関連するものをモチーフにさせていただきました。

神田教育長： 成人式の記念品としてデザインされているのですか。

小池社会教育係長： 似たデザインはあったかもしれませんが、こちらからの要望を取り入れて作っていただきました。

続きまして7ページ、青少年育成センターについてです。資料に記載しておりませんが、社会環境実態調査という県の調査があるのですが、今年度は中止となっております。また、青少年健全育成県民大会というものが毎年あり、パトロールをしてくださっている指導員の方で参加できる方と一緒に毎年参加しているのですが、今年度は中止となっております。

以上です。

下條副参事： 私からスポーツ関連事業について、12ページをご覧いただきたいと思います。先ほど清野課長補佐から説明がありましたとおり、年度の前半につきましては、新型コロナウイルスの感染防止のため、中止する事業が多かったのですが、7月、8月になって全国的に落ち着いてきた時点から、屋外で行う事業につきましては実施しておりました。夏のあそび虫スポーツキャンプについては総合型クラブとの共催事業ということで、事業がことごとく中止となってしまう中で、イベントを開催するという大きな意味がありまして、8月8日は68名、9日が72名と多くの参加がありました。11月22日にお楽しみミニ運動会を水原小学校のグラウンドをお借りし、50メートル徒競走、100メートル徒競走、ボール投げ、リレーなどの種目を行いまして、参加者は大変喜んで参加しておりました、162名の参加がありました。実際に会場に来られた方は保護者を合わせると約330名の参加状況でございました。また、各学校のPTA行事や学年行事としてスポーツ鬼ごっこの要望がありましたので、京ヶ瀬小学校、笹岡小学校にスポーツ推進員が出向いております。元旦マラソンにつきましては実施の方向で動いておったのですが、中止が決まったのが実施の前日で、県内や市内のコロナウイルスの発生状況を勘案し、中止という判断をさせていただきました。例年ですと270名ほどの参加があったのですが、今年度につきましては250名ほどの申し込みがあり、参加賞などを準備しておったのですが、前日の中止ということで、参加申込者全員に電話連絡をして断ったという経緯がございました。私からは以上です。

小野委員長： ありがとうございます。コロナ禍で様々な事業が中止となったということですが、今年度の結果を踏まえて、来年度の計画を立てていくと思いますが、感染対策をして実施している事業もあるわけですが、阿賀野市で基準を決めて、それを基本に、現状を勘案し実施するということになると思いますが、阿賀野市として具体的にありますか。

神田教育長： 市全体については、健康推進課が中心となっていて、学校を休業する等のことは健康推進課や保健所と協議して教育委員会が決めるということになってはいますが、健康推進課で基準を定めるという動きはないと思っています。

羽田課長： 基本的にそのとおりですが、それぞれの施設について国が5月にガイドラインを示しており、改訂も行われているので、それに合わせて施設

の運営も変更していくということになるかと思いますが、第3波で感染者が増えたため、事業を中止にせざるを得なかったということが実情です。

小野委員長： 委員の皆さまはコロナについて日ごろから感じていることなどはありますか。

伊藤副委員長： 学校も我々もそうですが、いろいろな事業が中止になってきて、イライラが募っていると思いますね。

ここは社会教育委員会ですが、学校では生徒たちにどのようなケアをしているのか気になります。

小野委員長： 相田委員は現場の専門家として、こうしていれば大丈夫っていうことはありますか。

相田委員： ありません。ワクチンを打ったから大丈夫ではなく、確実に下がってくるまではスタンダードに続けることが大事です。病院では面会に来られないほど厳しい状況になっていますし、20代の人からは、給料が安いから働かないで家にいるとの声が聞かれて、コロナの影響でより悪くなっていると感じます。

小野委員長： 田中委員はいかがですか。

田中委員： 昨年はいろいろなことが中止になって、この状況がいつまで続いて、今後どうなるのか分からない中で、去年は文化祭が中止でしたが、公民館で活動している人たちは発表の機会を目指して頑張っているので、事業の実施基準があると活動がしやすくなると思います。

もう1点思っていることは、医療従事者や飲食店の方が大変だということ取り上げられますが、社会教育関係の活動は直接日々の生活に関係はありませんが、活動ができずどうなるか分からないという状況でストレスが溜まっている人はいると思うので、心のケアも大事だと思っています。

小野委員長： ありがとうございました。

小学校と中学校でも対策や児童への指導があったと思いますが、そこを聞かせていただいてもいいですか。

伊藤浩委員： 中学校では、昨年の緊急事態宣言で学校が閉鎖になったこともあり、マスクの着用や手指消毒など、児童への指導は徹底していますね。そして授業を再開しましたが、色々な対策をしながら動いてきています。英語の授業は話さないと身につけませんから、距離を離したり、換気をしたりしながら実施しており、現在もそれは緩めてはいません。入学式と卒業式については教育委員会から指導がありましたので、来賓は遠慮していただきました。また、昨年度の卒業式は保護者を呼ばないという非常に厳しい状況でしたが、今年度からは何人かであればいいのではないかと話が出ています。修学旅行は行き先が関東や関西の予定でしたので中止となりました。次年度の修学旅行は、水原中学校は中止になりましたが、ほかの3つの中学校は県内1泊で計画しており、時期は10月になるのではないかと話をしてしています。体育祭については縮小、または対策を取って実施するという形になりました。子供たちは成長していきますし、教育課程がありますので中止にはしない形で何とかやっています。

小野委員長： 小学校の運動会はどうでしたか。

佐藤委員： 小学校では運動会をすべて中止としましたし、水泳も行いませんでした。また、他の学校の生徒が集まる音楽祭や陸上大会はなくなりました。今は工夫をしながら実施しようという方向ですが、学校の規模でできる対策は違いますね。小さい学校では卒業式に在校生も出ることができませんが、水原小学校の規模ですと在校生は出席できません。

また、先生方は大変だったと思いますが、水原小学校では大人をなるべく集めないように、参観日を4回に分けて実施しました。

社会教育の関係でいうと、ゲームやタブレットのことで悩んでいる保護者の方もいらっしゃるので、大久保さんのインターネットに関する講座が学校としてはありがたかったです。学校でも実施する予定でしたが、今年度はコロナ禍で人を集めることができませんでした。

来年度の実施は難しいと思いますが、将来的には学校の変化に合わせてタブレットのカメラを使った写真コンテストや写真教室など、学校ができないことや発表の場を設けてもらえるような互換し合える関係になれば助かります。

小野委員長： ありがとうございます。社会教育の事業に関しては、飲食店や観光など生活にかかわる内容ではないので、極端に言えばやらなくてもいいということになりますが、生活の営みにおいて、してはいけないことが

増えている今、精神的な面も含めて問題が出てくると思います。

事業を実施したことによってクラスターが発生したら大変ですが、感染対策を工夫すればもっと事業を実施できるのではないかと思うのですが、皆さんいかがでしょうか。

伊藤副委員長： 現在でもマニュアルに従い、対策は十分に活動している団体もあります。市は事業を中止し過ぎているような気もしますが、一か八かの状況で事業を実施するというのも少し怖いので、難しい問題だと思いますね。令和3年度はこの1年間を活かし、事業を実施する方向に転換してもらいたい。文化協会の関係でいえば、文化祭の関係がすべて中止になりました。それに伴い文化協会に参加している団体の活動も中止となりました。そうすると高齢化していることもあって、再開するのではなく解散してしまい、加盟団体が減っていく。工夫して活動が再開できるようにしていかないと文化事業がやりづらくなると思います。

小野委員長： 今年度実施した事業の中で、感染対策を実施して安全に実施できた事業はありましたか。

小林主任： 社会教育係では例年、こだま事業をしておりますが、今年度は門松づくりをさせていただきました。例年、10組程度でやっておりましたが、今年度はほかの事業が少なかったこともあるのかもしれませんが、17組47人の参加をいただきました。実施日に近い日に市内で感染者が出たこともあり、食事は中止し、体育館でグループを分けて実施しました。小中学校の先生方からボランティアで各班についてくれたので、子どもたちが他のグループに行くこともなく実施できました。広い場所でソーシャルディスタンスを保ち、消毒をすれば活動ができると感じました。

松澤少年自然の家副所長： 自然の家の事業についてまだ報告しておりませんでしたので、報告させていただきます。4月から6月まではコロナの影響で利用が0に近い状態でした。その後、利用者の方から利用日を変更していただいたことにより、7月から10月までに毎月10組から利用していただきました。食堂は116名まで収容できますが、45人程度で利用していただき、宿泊を計画していた団体からは1部屋8人利用のところ、半数の4人で利用いただき、野外炊飯をした団体については手指消毒を徹底していただきました。

下條副参事： 中止となった元旦マラソンですが、例年は水原総合体育館のロビーで安全祈願祭を実施する予定でしたが、今年度はアリーナを会場とし、入り口で検温とアルコール消毒、スタートを分散させ、参加賞を配る際は一方通行にして導線を確保するなど、できる対策はほとんど取りながら計画しておりましたので、来年度は実施できるのではないかと考えております。そういった対策を取りながらスポーツ事業をやっていく予定です。

小野委員長： 今日事業報告ということで、活動できなかったことが一つの問題点でしたが、今年度の経験を踏まえて来年度の事業の計画を立て、社会教育活動を実施していくと良いと思いました。他にご意見等はございますか。

相田委員： 家庭教育の関係で写真コンテストの話がありましたが、村上市では地域振興局が地域の写真を「むらかみ・いわふね珍風景」として写真を募集していたので、地域の魅力を伝える方法の一つとして重要だと思います。

総合計画について新聞に載っていましたが、養育指導の必要な児童が増加傾向にあることから、児童発達支援の充実や、他の自治体に比べて図書館利用が少ないため、読書活動推進を新たに設定したと書かれています。養育指導の必要な児童が増えているということは、それだけ心配している保護者の方がいるということですし、相談件数が目標値より低いことを心配している人がいるようです。また、私は安野小学校の読み聞かせを立ち上げたのですが、読む力を付けるということは大事だと思うので、図書館利用促進、読書活動推進について市として考えていることがありましたら教えていただけたらと思います。

羽田課長： 読書活動促進については以前からブックスタートを含めて力を入れてきたところでは。

図書館については、市立図書館の規模の問題もありますが、蔵書数が他の図書館に比べて少ないため、図書館パワーアップ事業等に乗っ取り、中身の刷新も含めて取り組み、図書館の利用を増やしていきたいと思っております。

田中委員： 私は読み聞かせのボランティアをさせていただいて思うのですが、小さいころから本に触れて育った子とそうではない子はその後の読書量が違いますし、読解力や語彙力が付きますし、社会に出てからも財産にな

ると感じています。先ほどのお話を聞かせていただいて、読み聞かせの活動はマスクをしたままできますし、密にならずに実施できると思えました。

また、私が常に思っていることですが、生涯学習施設って高齢者や子育て世代の居場所だったり子どもたちの集まる場所となっていますが、思春期や青年期の若い世代の人の活動が少ない気がするので、大人向けの読み聞かせとか何らかの形でそういった世代の人の活動を多く出来たら良いと思いました。

小野委員長： 今のご意見を聞いて、対策や方針について何かありますか。

小池社会教育係長： 読み聞かせは図書館係がメインでやっており、公民館事業では本を扱う事業はありませんが、頂いたご意見を参考に図書館係と話をして検討したいと思えます。

清野課長補佐： 以前の試みとしてキッズ料理教室で料理が出来上がるまでの間に読み聞かせをしていることもありました。

神田教育長： 市立図書館に幼児向けの絵本を充実させて、子どもたちが行きたいと思える魅力を持った図書館にするべきという話を聞いていました。

羽田課長： 令和2年度の補正予算と令和3年度の当初予算を組み、図書館の環境を強化していきたいと考えています。

神田教育長： 分かりました。総合計画の話が出ていましたが、総合計画を受けて作成している教育基本計画というものがあるのですが、そのパブリックコメントが終わりました。その中で大事にしていることが、1 地域に愛着を持つ子ども、2 地域を愛し未来を切り開いていく子どもを育てる、ということが目標となっています。

その中で、全国よりも高い値ですが、子どもたちが地域行事に参加する率が約60%となっています。値としては良いとは言えません。地域の行事が活発になって子どもたちを誘って地域に入り込んでくれないかな、という祈りがあります。地域が廃れつつあるのではないかという危惧があるんです。

それと家庭教育が弱い。昔からですが、こどもが駄々をこねると親が負ける。何が心配かという携帯やゲーム機の使用です。フィルタリングをかけてくださいと何度もお願いしていますが、聞いてみるとフィル

タリングはかけていませんと言われます。そして子どもの携帯やゲームをチェックや指導をしていません。

今年はインターネットの家庭教育講座をしましたが、家庭教育は重要なので、一般の人から参加してもらえるように働きかけることが大事だと思います。

小野委員長： ありがとうございます。
他にご意見はございますか。

相田委員： 子どもは親の影響を受けます。

家庭教育支援でインターネットに関する話が聞いて良かったという声がありましたが、家族向けの講座はほかにこだま事業ぐらいなので、せっかくまちの達人という冊子を作っているのであれば配るだけではなく、PTAなどに売り込んで、親世代が触れ合って緊張を取れるようになればいいと思います。

図書館については、親が本を読むことを大事だと思わないと子どもに読んで聞かせないし、将来親になる中高生は本を読むことで知識を得られるということが分からなければ本を読まないので、循環ができる仕組みを作らないといけないと思います。

どうすれば循環するようになるかを図書館係だけでなく課全体で考えると良いと思います。

小野委員長： ありがとうございます。
今日は令和2年度の事業報告でしたが、来年度の計画案についてはいつ話し合いがある予定でしょうか。

小池社会教育係長： この後に説明させていただく予定としておりました。

小野委員長： 分かりました。それではお願いします。

羽田課長： 生涯学習課の次年度の予算編成の中で、変更を考えているところなどを説明させていただこうと思います。

事業の見直しが必要なものがあり、小野委員長から講師として参加していただいている学習支援では、会場を変更したり対象を拡げたりして検証をしておりましたが、インターネット環境が整ってきたため、今後はオンライン授業などを加味して検証をしていかなければならないため、事業の見直しをやっていく予定となっております。

その他では、今年度整備をしている歴史民俗資料館ですが、4月中オープンを目指して進めております。

次に、自然の家になりますが、新型コロナウイルスや少子高齢化の影響で利用者数がかなり落ち込んでおりますが、その他にも45年も経っているため、今後どうするかという問題点があります。施設に手をかける前に当課としては精一杯の経営改善に努め、収支のバランスを少しでも整えていきたいと考えております。

大小、様々ありますが、様々な事業の見直しを考えていきたいと思っております。

小野委員長： 分かりました。

来年度の見通しと計画の話し合いはいつごろになりますか。

小池社会教育係長： 例年ですと6月に計画を皆様にお示しする形になります。

来年度の社会教育事業の展開についてお話をさせていただきますと、今年度はコロナ禍の中で事業を進めてきましたが、基本的にはマスクの着用などの対策を取ればできる事業がたくさんありますのでしっかりと対策を立てながら、実施するつもりで計画を立てています。コロナの状況によってはWEB講座なども考え、事業ができないということがないように進めていきたいと考えております。

先ほど伊藤副委員長からお話がありましたが、公民館を利用している方々が高齢化したり人数が減っていたりしているということで、名前はまだ決まっておりませんが、マンスリー教室のような事業を考えています。希望する利用団体から1か月無料で施設を使っただけ、新しい加入者を増やしていただけるような利用団体が活性化する仕組みを作ろうと考えています。

家庭教育の関係では、来年度は家庭教育について学べるような講座ができたかと考えています。

こだまでは繭玉を作ったりミニ門松を作ったりしておりますが、家族で参加している方からは楽しいという感想が聞かれているので、そういった良い事業は継続していく予定です。

また、新たに人材育成事業という市の事業のボランティアをしていただける方を育成する事業を考えています。

具体的なことは来年度の第1回の会議の際にはお示ししたいと思います。

羽田課長： 先ほど説明させていただいた学習支援事業についてですが、小学校を

対象にした放課後スクール、中学校を対象とした温故塾がありますが、学校の授業の中で分からないことがあった生徒が分からないことをそのままにしないようにサポートしていくことが学習支援事業になります。説明が足りませんでしたので補足させていただきました。

小池社会教育係長： 来年度の社会教育の関係で分かっている日程を説明させていただきます。

社会教育委員連絡協議会関係ですが、新潟県社会教育研究大会が10月13日（水）に妙高市で行われる予定となっております。それから全国社会教育研究大会ですが、10月27日（水）から29日（金）まで、会場は石川県となっております。関東甲信越静社会教育研究大会は11月11日（木）、12日（金）の2日間で、東京都で行う予定となっております。公民館連絡協議会関係では、全国公民館研究集会と関東甲信越静ブロック大会と一緒に9月17日（金）に山梨県で行われる予定です。新潟県公民館大会は10月29日（金）十日町市で行われる予定となっております。あくまで予定ですが、参考に紹介させていただきました。

小野委員長： ありがとうございました。これで議題は以上になります。

羽田課長： 小野委員長、ありがとうございました。委員の皆様におかれましても長時間にわたり審議いただき、誠にありがとうございました。以上を持ちまして、社会教育委員・公民館運営審議会を閉会させていただきます。

9 問い合わせ先

生涯学習課社会教育係

TEL：0250-63-8019

E-mail：syogaigakusyu@city.agano.niigata.jp